

ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引、その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありません。

本資料で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なる場合がございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではなく、お取引をなさる際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいませようをお願いいたします。

加入協会

日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

商号等

楽天証券株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

外国株式のリスクと費用について

■外国株式 海外ETF／ETN／REIT

【外国株式等の取引にかかるリスク】

外国株式等は、株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、為替相場の変動等により損失（為替差損）が生じるおそれがあります。上場投資信託（ETF）は連動対象となっている指数や指標等の変動等、上場投資証券（ETN）は連動対象となっている指数や指標等の変動等や発行体となる金融機関の信用力悪化等、上場不動産投資信託証券（REIT）は運用不動産の価格や収益力の変動等により、損失が生じるおそれがあります。

●レバレッジ型、インバース型ETF及びETNのお取引にあたっての留意点

上場有価証券等のうち、レバレッジ型、インバース型のETF及びETN（※）のお取引にあたっては、以下の点にご留意ください。

- ・ レバレッジ型、インバース型のETF及びETNの価額の上昇率・下落率は、2営業日以上の場合、同期間の原指数の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じたものとは通常一致せず、それが長期にわたり継続することにより、期待した投資成果が得られないおそれがあります。
- ・ 上記の理由から、レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、中長期間的な投資の目的に適合しない場合があります。
- ・ レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、投資対象物や投資手法により銘柄固有のリスクが存在する場合があります。詳しくは別途銘柄ごとに作成された資料等でご確認いただく、またはコールセンターにてお尋ねください。

※「上場有価証券等」には、特定の指標（以下、「原指数」といいます。）の日々の上昇率・下落率に連動し1日に一度価額が算出される上場投資信託（以下「ETF」といいます。）及び指数連動証券（以下、「ETN」といいます。）が含まれ、ETF及びETNの中には、原指数の日々の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じて算出された数値を対象指数とするものがあります。このうち、倍率が+（プラス）1を超えるものを「レバレッジ型」といい、-（マイナス）のもの（マイナス1倍以内のものを含みます）を「インバース型」といいます。

外国株式のリスクと費用について

【米国株式の信用取引にかかるリスク】

米国株式信用取引の対象となっている株式等の株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。米国株式信用取引は差し入れた委託保証金を上回る金額の取引をおこなうことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。その損失額は差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。また、米国株式信用取引は外貨建てで行う取引であることから、米国株式信用取引による損益は外貨で発生します。そのため、お客様の指示により外貨を円貨に交換する際の為替相場の状況によって為替差損が生じるおそれがあります。

【外国株式等の取引にかかる費用】

〔現物取引〕

1回のお取引金額で手数料が決まります。

分類	取引手数料
米国株式	約定代金の0.495%（税込） ・最低手数料：0米ドル ・上限手数料：22米ドル（税込）
中国株式	約定代金の0.275%（税込） ・最低手数料：550円（税込） ・上限手数料：5,500円（税込）
アセアン株式	約定代金の1.10%（税込） ・最低手数料：550円（税込） ・手数料上限なし

※当社が別途指定する銘柄の買付手数料は無料です。

※米国株式の売却時は上記の手数料に加え、別途SEC Fee（米国現地取引所手数料）がかかります。詳しくは当社ウェブページ上でご確認ください。

※中国株式・アセアン株式につきましては、カスタマーサービスセンターのオペレーター取次ぎの場合、通常の手数料に2,200円（税込）が追加されます。

外国株式のリスクと費用について

〔米国株式信用取引〕

1回のお取引金額で手数料が決まります。

取引手数料

- 約定代金の0.33% (税込)
- ・最低手数料：0米ドル
- ・上限手数料：16.5米ドル (税込)

米国株大口優遇の判定条件を達成すると、以下の優遇手数料が適用されます。米国株大口優遇は一度条件を達成すると、3ヶ月間適用になります。詳しくは当社ウェブページをご参照ください。

〔米国株式信用取引（米国株大口優遇）〕

約定金額にかかわらず取引手数料は0米ドルです。

※当社が別途指定する銘柄の新規買建または買返済時の取引手数料は無料です。

※売却時（信用取引の場合、新規売建/売返済時）は上記の手数料に加え、別途SEC Fee（米国現地取引所手数料）がかかります。詳しくは当社ウェブページ上でご確認ください。

●米国株式信用取引には、上記の売買手数料の他にも各種費用がかかります。詳しくは取引説明書等をご確認ください。

●米国株式信用取引をおこなうには、委託保証金の差し入れが必要です。最低委託保証金は当社が指定する30万円相当額、新規建て時に最低必要な委託保証金率は50%、委託保証金最低維持率（追証ライン）が30%です。委託保証金の保証金率が30%未満となった場合、不足額を所定の時限までに当社に差し入れていただき、委託保証金へ振替えていただくか、建玉を決済していただく必要があります。

目次

1. 米国株市況

2. 大統領選挙状況

3. 政策分析

- トランプ
- ハリス
- トレンド

4. 今後

5. 終わりに

米国株市況-指数レベル

ナスダックはほぼ最高値付近に。半導体は一旦調整後再反発中。

momiage0088 が TradingView.com で 10月 26, 2024 18:04 UTC-5 に公開



年初来

半導体指数+24.02%

ナスダック+23.03%

ダウ+11.68%

S&P500+22.51%

ラッセル+9.71%

赤：半導体指数

青：ナス

オレンジ：ダウ

紫：ラッセル

黄色：SP500

米国株市況-テック大型株

NVDA (+193.85%)が圧倒的・次点としてはMETA(65.54%)が引っ張る

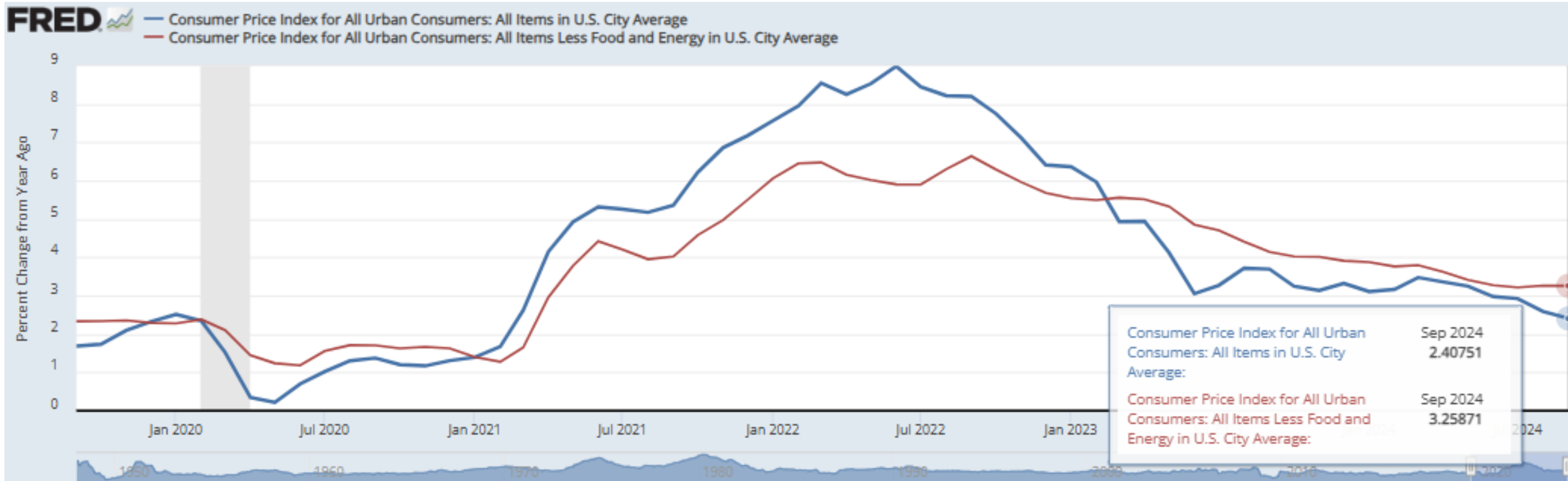
momiage0088 が TradingView.com で 10月 26, 2024 18:07 UTC-5 に公開



米国株市況-インフレ率の変遷

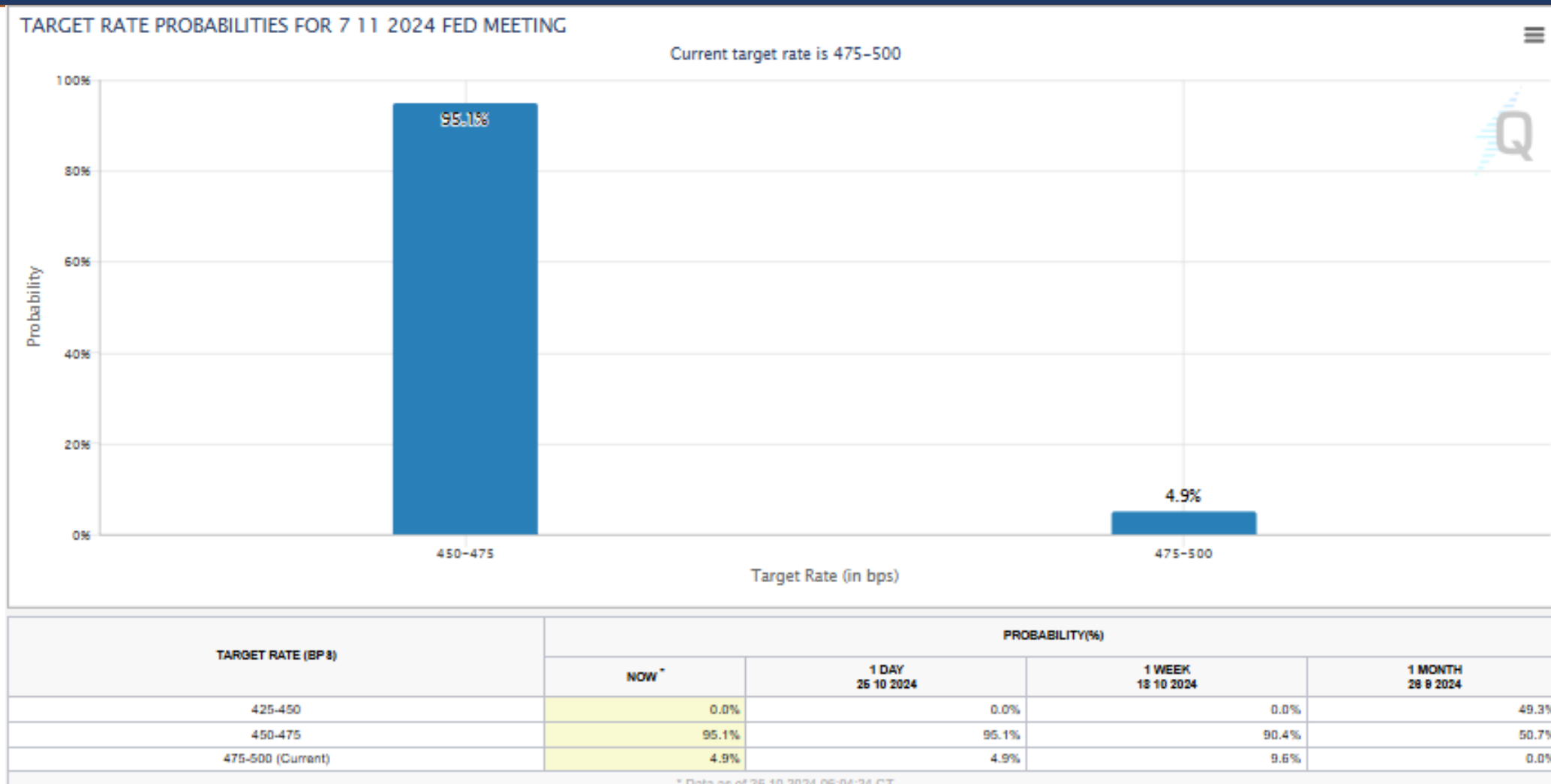
- ・ CPI総合指数はインフレ後退
- ・ CPIコア指数は後退も横ばいになりつつある

青:総合指数 赤:コア指数 (食品とエネルギー除く)



米国株市況-FOMC予想（10月末時点）

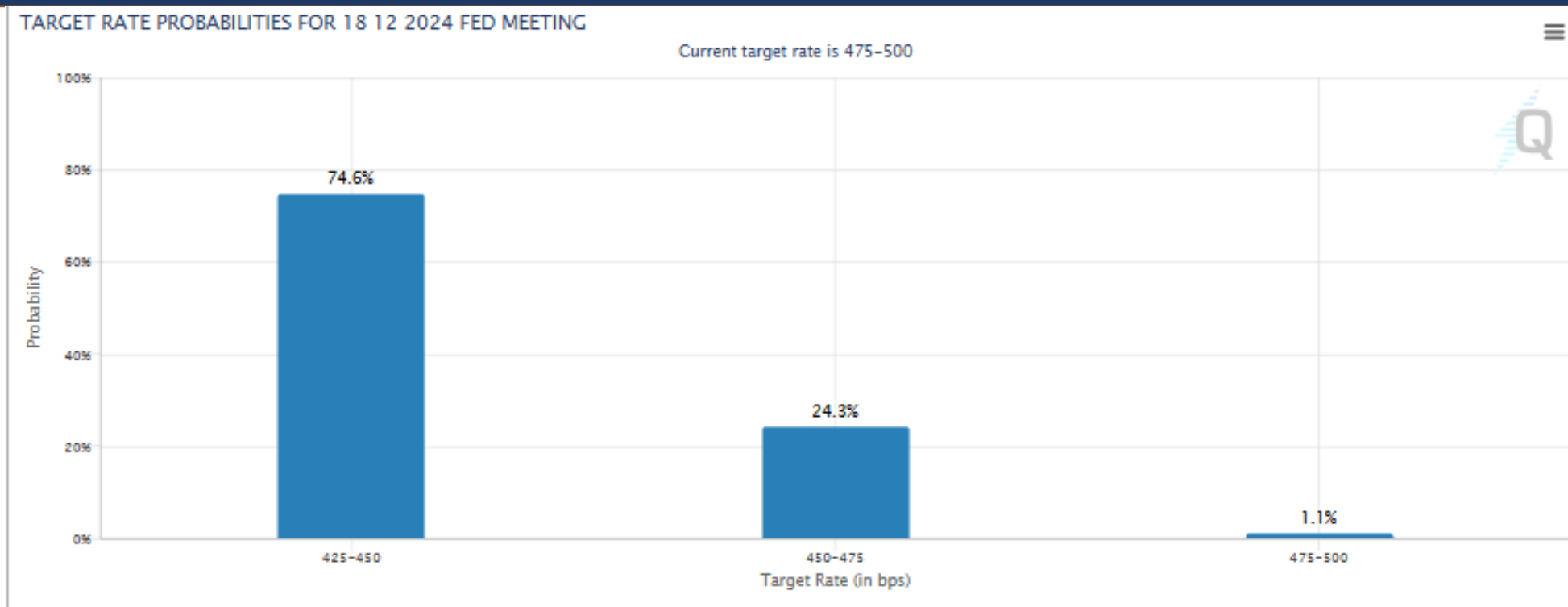
2024年11月FOMC政策金利予想：1回の利下げ95%予想（0.25%/回）



<https://www.cmegroup.com/ja/markets/interest-rates/cme-fedwatch-tool.html>

米国株市況-FOMC予想(10月末時点)

2024年12月FOMC政策金利予想：今の所1回の利下げが優勢（0.25%/回）



TARGET RATE (BP)	PROBABILITY(%)			
	NOW*	1 DAY 26 10 2024	1 WEEK 18 10 2024	1 MONTH 28 9 2024
375-400	0.0%	0.0%	0.0%	22.0%
400-425	0.0%	0.0%	0.0%	49.9%
425-450	74.6%	74.6%	76.8%	28.0%
450-475	24.3%	24.3%	21.8%	0.0%
475-500 (Current)	1.1%	1.1%	1.4%	0.0%

* Data as of 26 10 2024 06:07:48 CT

<https://www.cmegroup.com/ja/markets/interest-rates/cme-fedwatch-tool.html>

米国株市況-底堅い経済

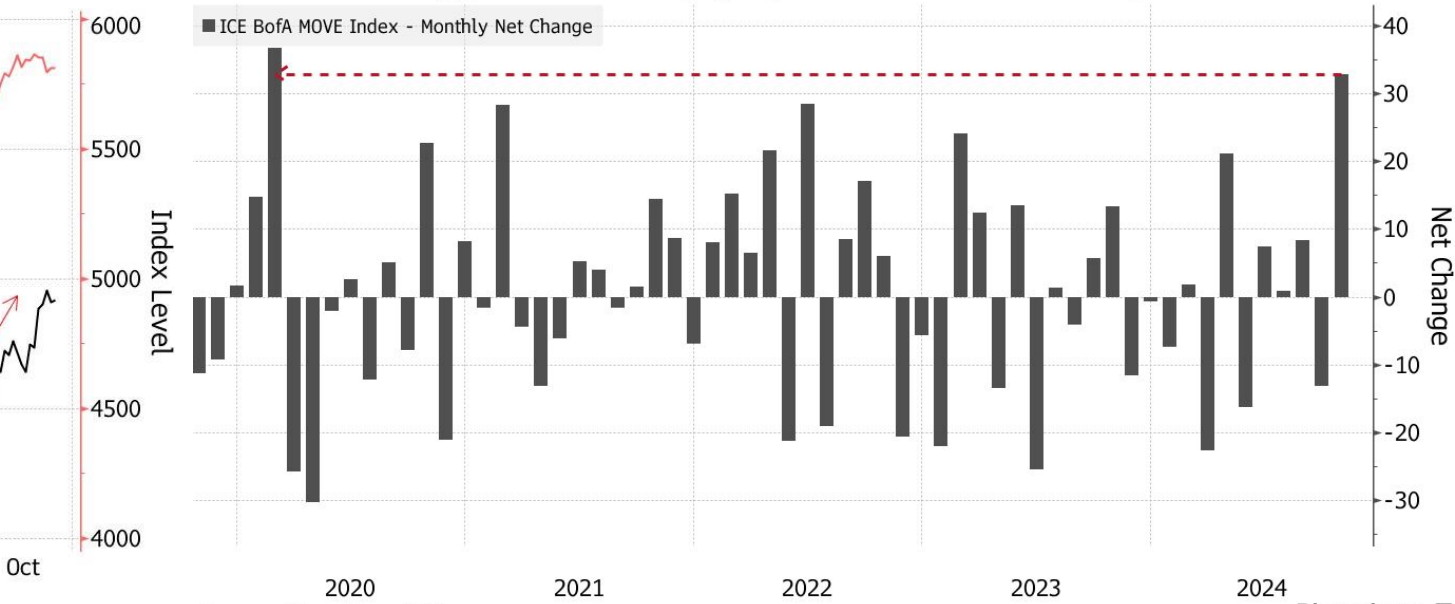
- ・ 金利上昇と逆相関が弱くなった株式指数
(景気底堅く金利下落トレンドにない)
- ・ 国債のボラティリティがパンデミック以降の最大値を更新
- ・ 大統領選挙後も金利が大きく変化する可能性は残される

Equities Have Been Less Bound to Bonds
US stocks have continued to rally despite the sharp jump in yields



Source: Bloomberg

Bond Volatility Takes Hold of Markets
MOVE saw the biggest net monthly jump since the onset of the pandemic



Source: Bloomberg, ICE

Source: Bloomberg

米国株市況-2024年サマリー

・ここまで

- ①半ばQE(Quantitative Easing：量的緩和)状態
- ②AI過熱感は和らいだがNVDAがマーケット牽引
- ③米国企業の底堅い決算（駄目な企業は淘汰される）
- ④9月FOMCで50BPS利下げも想定以上の強い経済

・これから

- ①大統領選挙結果
- ②10月末までの決算とトレンド継続
（テック&トランプトレード）
- ③経済の強弱とFRBの姿勢

米国大統領選挙状況



米国大統領選挙状況



トランプ



ハリス

項目	トランプ	ハリス
経済・政策	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな減税策導入 ・米国製造業の復活 ・法人税引き下げ ・住宅購入支援（住宅ローン金利引き下げ、税制優遇措置） 	<ul style="list-style-type: none"> ・インフレ対策に焦点 ・中間層向け政策 ・法人税引き上げ ・住宅購入支援（現金支給&新築物件建設）
外交政策	<ul style="list-style-type: none"> ・インドは共に繁栄 ・中国は対抗 ・親イスラエル 	<ul style="list-style-type: none"> ・バイデン大統領の方針継続 ・中国には競争で勝つ イスラエル支持も人道重視
通商	<ul style="list-style-type: none"> ・中国製鉄鋼・アルミニウム輸入制限措置 ・中国向け最恵国待遇撤回 ・外国製品は原則10%~20%関税 ・TPPは復帰せず 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国製鉄鋼・アルミニウム輸入制限措置 ・中国EV関税引上げ、関連リチウム電池・半導体関税引上げ ・中国向け半導体輸出規制強化 ・TPPは復帰せず
エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・パリ協定から離脱 ・天然ガスインフラ整備強化 ・LNG制限解除 <p>→エネルギー価格半分目指す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンエネルギー促進は継続 ・LNG（液化天然ガス）の新たな輸出手続き一時凍結は継続

米国大統領選挙状況

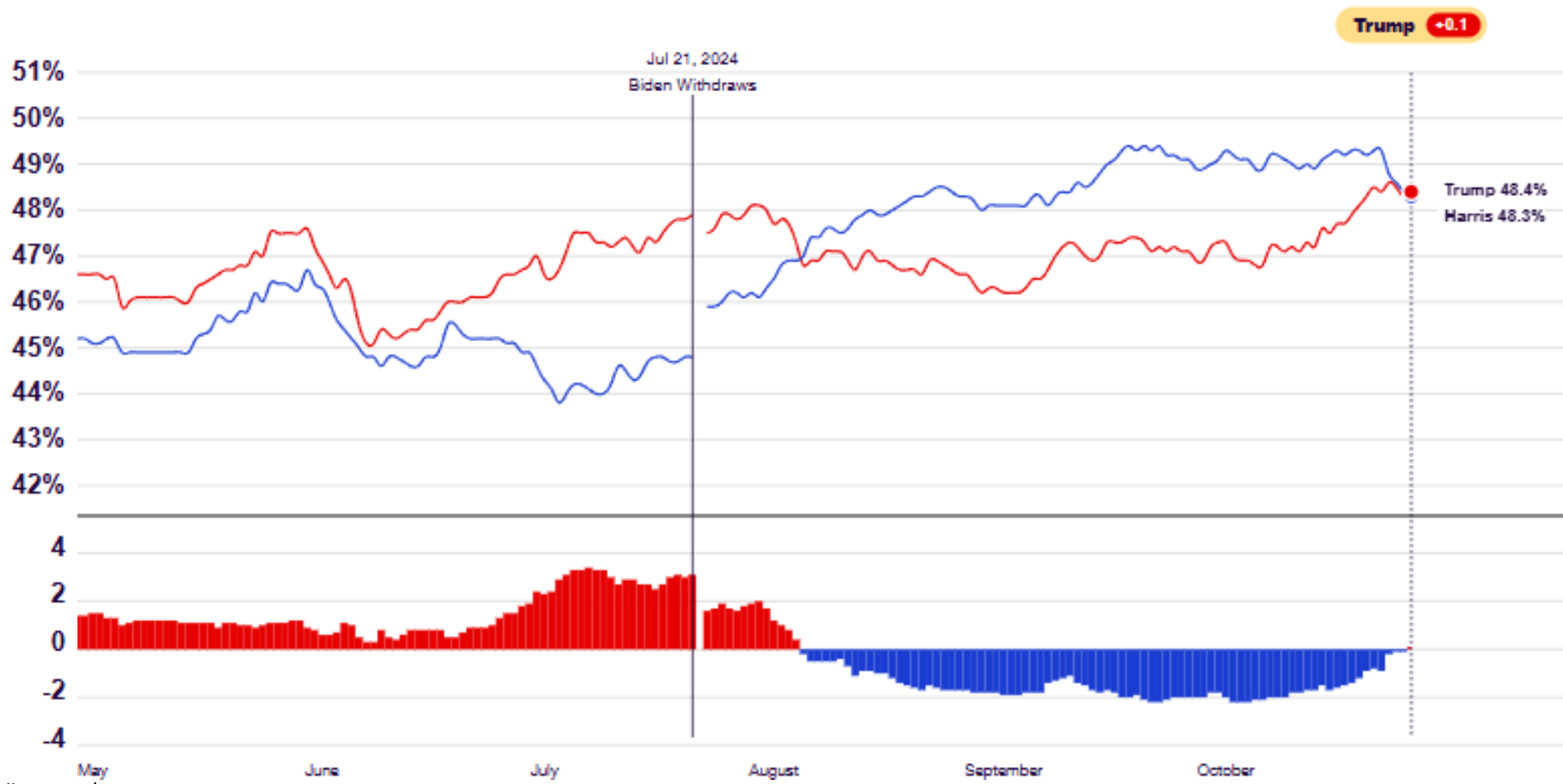


RealClearPolitics Poll Average

48.4 Trump +0.1 48.3 Harris

Trump vs. Harris

(Trump vs. Biden Before July 21, 2024)



米国大統領選挙状況

Harris/Walz

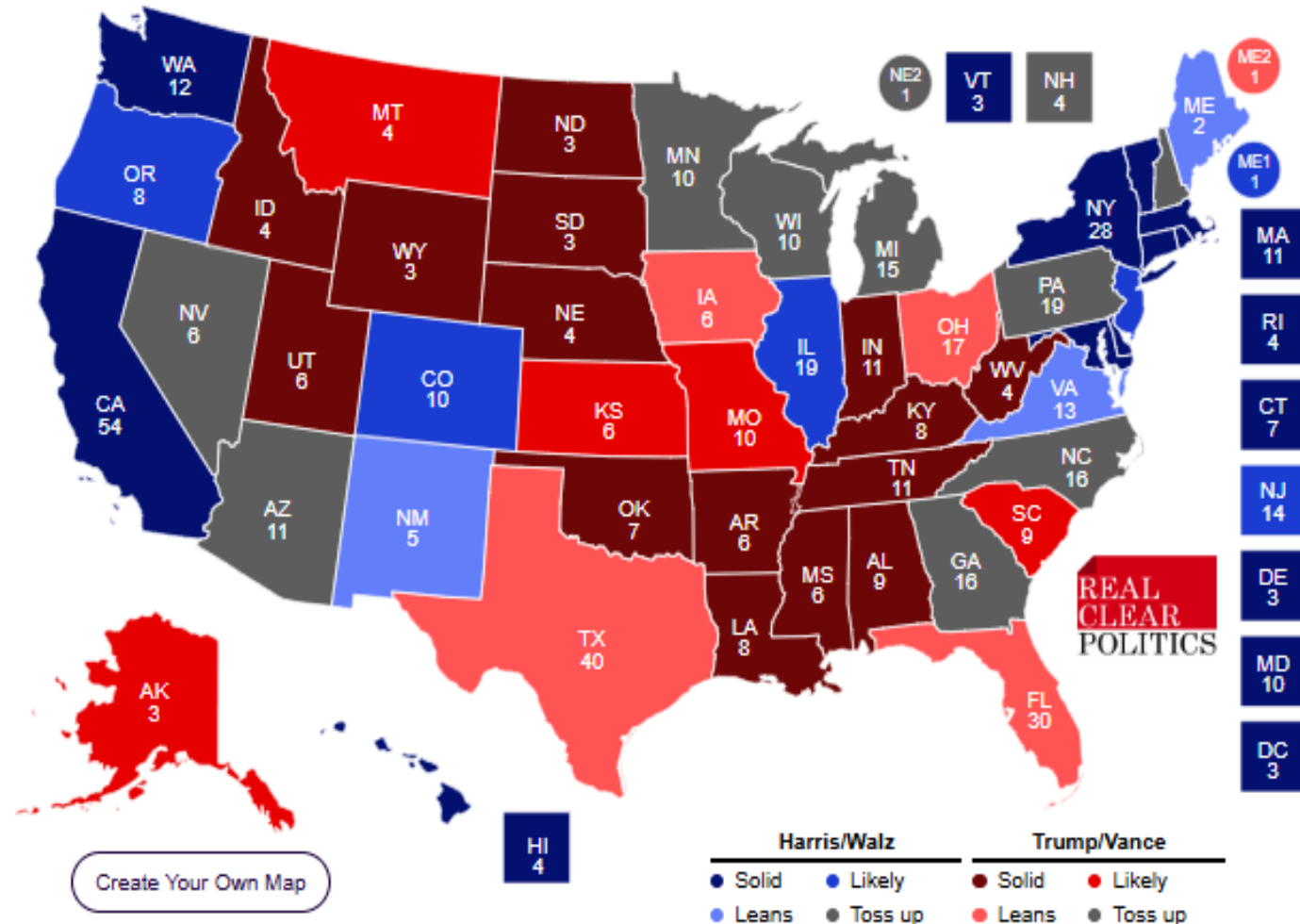
211

Toss Ups

108

Trump/Vance

219



・大統領選挙は270人の選挙人を獲得した方が勝利

・上院は100議席中 3分の1 が改選

・下院は435議席の全議席が改選

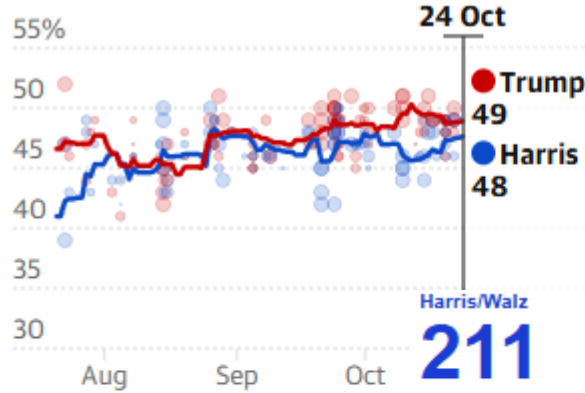
パターン①オールレッド
大統領トランプ・上院&下院共和党

パターン②ねじれ
大統領ハリス・上院共和・下院民主
大統領トランプ・上院共和・下院民主

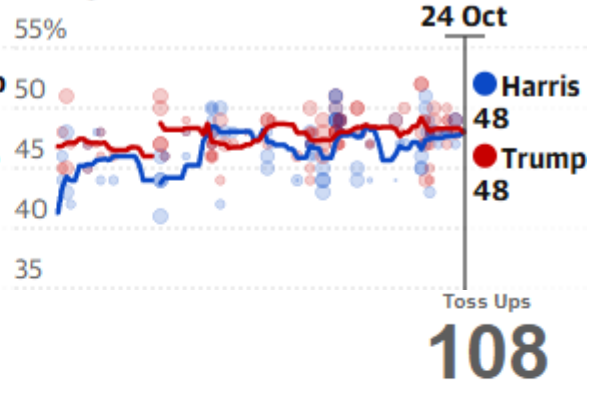
米国大統領選挙状況

- ・ トランプが僅かにリード（実際は更にリードしてる可能性あり）
- ・ 9州のトスアップの中で下記7州が最注目州

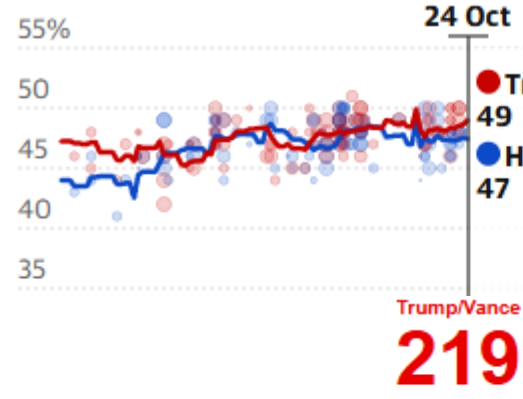
Arizona Trump +1



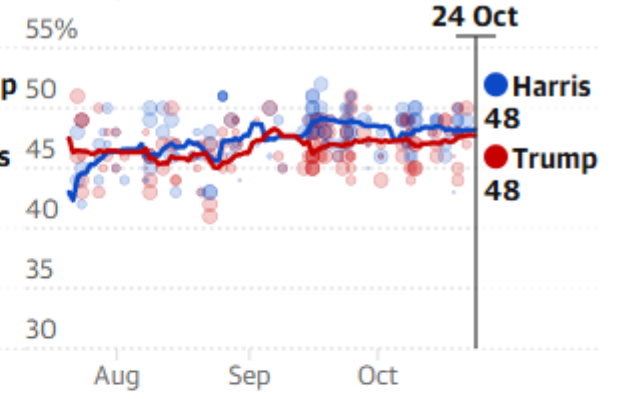
Georgia Harris <1



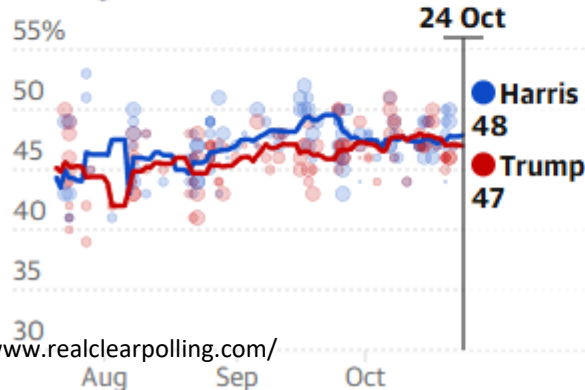
North Carolina Trump +2



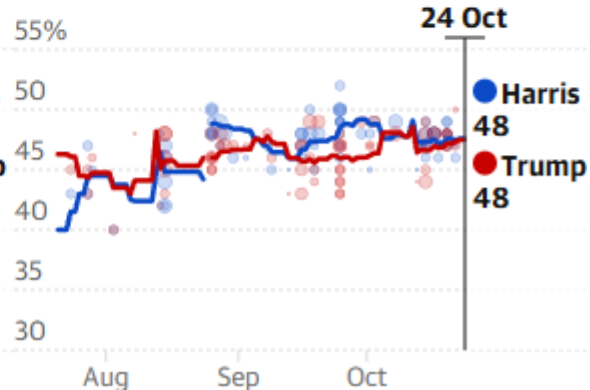
Pennsylvania Harris <1



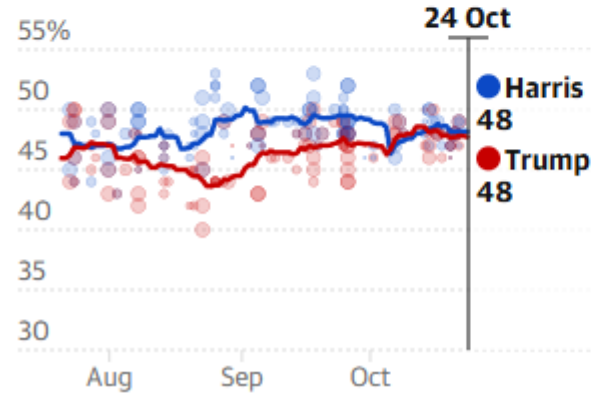
Michigan Harris +1



Nevada Harris <1



Wisconsin Harris <1



米国大統領選挙状況-予想サイト



Trump

54.7%

▼0.4%



Polymarket

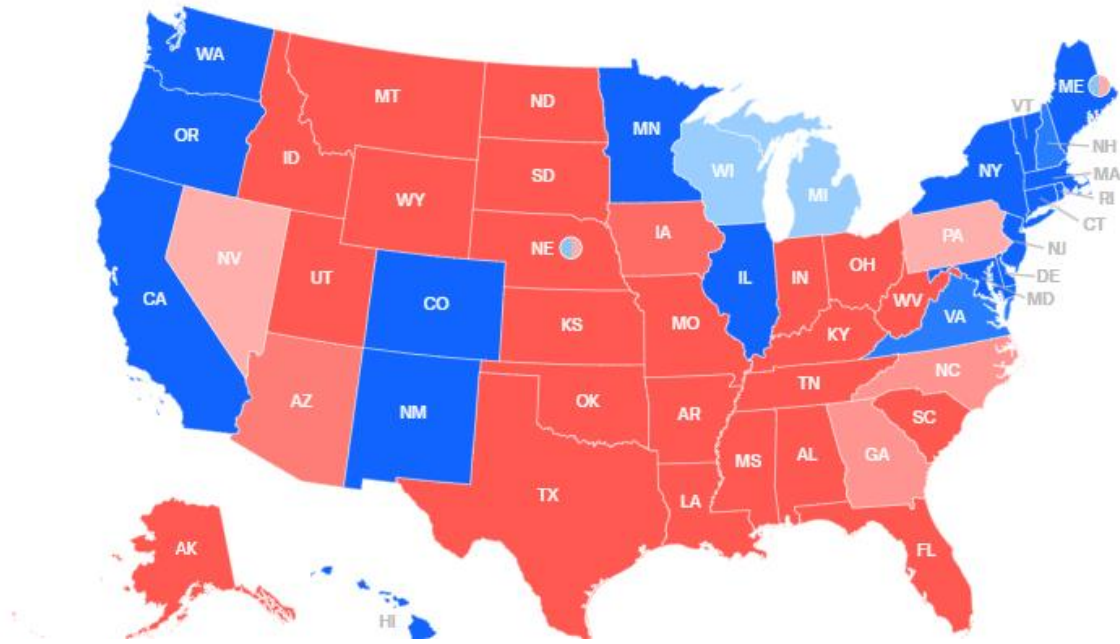
polymarket.com/elections

45.4%

▲0.4%



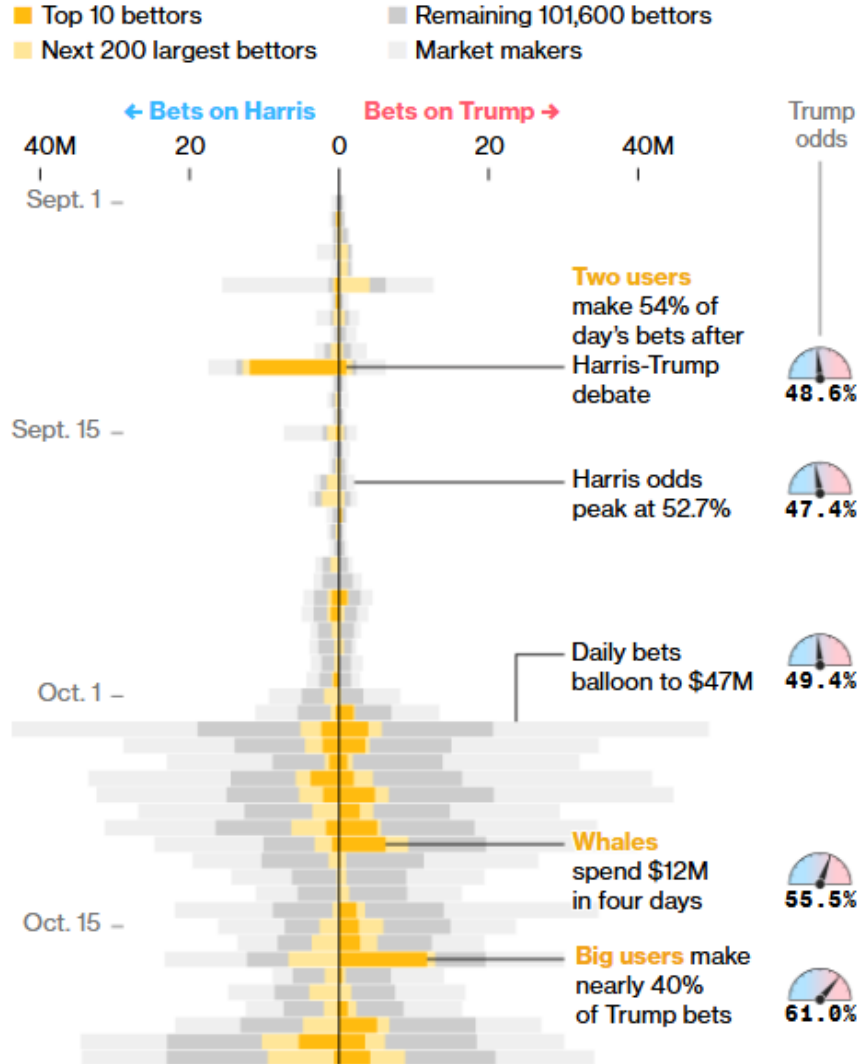
Harris



- ・ 10月に入ってから急激にトランプ優位のオッズ
→一部大口が引上げていた情報も
- ・ 直近で急激に差が縮まった。(11月3日)
→選挙状況が明確になるまでトランプトレードの利確が継続可能性あり

米国大統領選挙状況-予想サイト

Daily Trump and Harris contracts bought, since Sept. 1

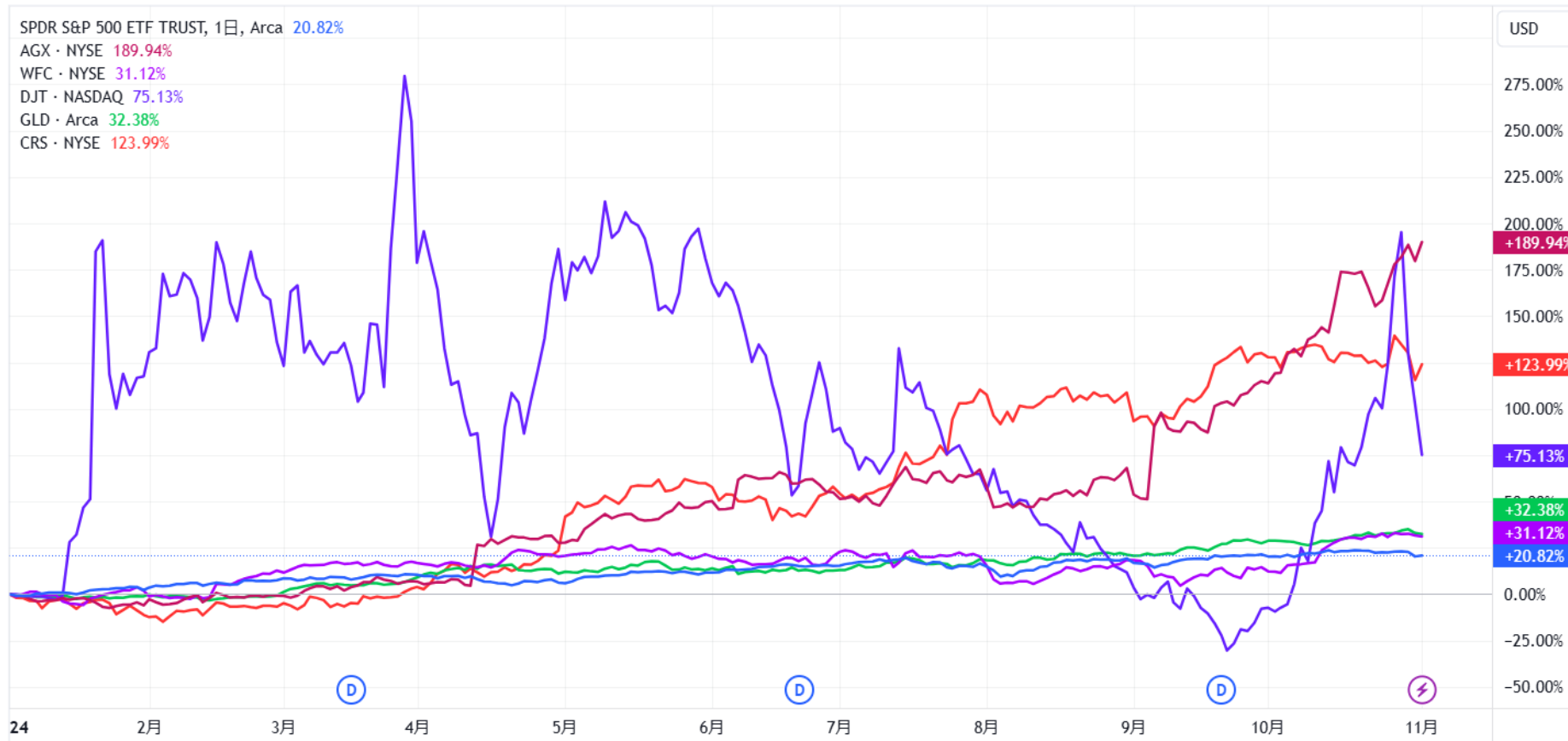


- ・左側のベットの動きを見てるとトップ10ユーザーが大きく確立を動かしてるのがわかる
 - ・特に10月10日位からトランプ側へのベットを特定の数人が動かしてる可能性が高い
- トランプトレードがマーケットに反映された

米国大統領選挙状況-トランプトレード

トランプトレード AGX・CRS・WFCはトランプ政権で強いといわれるセクター
DJTはトランプメディア（SNS）、GLDはポピュリズム対策

momimage0088 が TradingView.com で 11月 03, 2024 20:26 UTC-6 に公開



年初来
S&P500+20.82%

AGX +189.94%

WFC+31.12%

DJT+75.13%

GLD +32.38%

CRS +123.99%

政策分析



トランプ



ハリス

項目	トランプ	ハリス
経済・政策	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな減税策導入 ・米国製造業の復活 ・法人税引き下げ ・住宅購入支援（住宅ローン金利引き下げ、税制優遇措置） 	<ul style="list-style-type: none"> ・インフレ対策に焦点 ・中間層向け政策 ・法人税引き上げ ・住宅購入支援（現金支給&新築物件建設）
外交政策	<ul style="list-style-type: none"> ・インドは共に繁栄 ・中国は対抗 ・親イスラエル 	<ul style="list-style-type: none"> ・バイデン大統領の方針継続 ・中国には競争で勝つ イスラエル支持も人道重視
通商	<ul style="list-style-type: none"> ・中国製鉄鋼・アルミニウム輸入制限措置 ・中国向け最恵国待遇撤回 ・外国製品は原則10%~20%関税 ・TPPは復帰せず 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国製鉄鋼・アルミニウム輸入制限措置 ・中国EV関税引上げ、関連リチウム電池・半導体関税引上げ ・中国向け半導体輸出規制強化 ・TPPは復帰せず
エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・パリ協定から離脱 ・天然ガスインフラ整備強化 ・LNG制限解除 <p>→エネルギー価格半分目指す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンエネルギー促進は継続 ・LNG（液化天然ガス）の新たな輸出手続き一時凍結は継続

米国大統領選挙状況-トランプセクター

項目	トランプ	セクター
経済・政策	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな減税策導入 ・米国製造業の復活 ・法人税引き下げ ・住宅購入支援（住宅ローン金利引き下げ、税制優遇措置） 	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅建設関係 ・一部製造業（特に中西部） ・金融セクター
外交政策	<ul style="list-style-type: none"> ・インドは共に繁栄 ・中国は対抗 ・親イスラエル 	<ul style="list-style-type: none"> ・防衛&宇宙
通商	<ul style="list-style-type: none"> ・中国製鉄鋼&アルミニウム輸入制限措置 ・中国向け最恵国待遇撤回 ・外国製品は原則10%~20%関税 ・TPPは復帰せず 	<ul style="list-style-type: none"> ・一部素材セクター
エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・パリ協定から離脱 ・天然ガスインフラ整備強化 ・LNG制限解除 →エネルギー価格半分目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・天然ガス
その他		

トランプの特徴

- ・米国の製造業の復活
- ・中から低所得者層への関心強め（住宅支援）
- ・米国は最強！（内向きの政策）
- ・環境？エネルギー安なら使えるものは使う
- ・中国には厳しく（でも実は民主党より緩い）
- ・移民は排除するぞ！

米国大統領選挙状況-トランプセクター

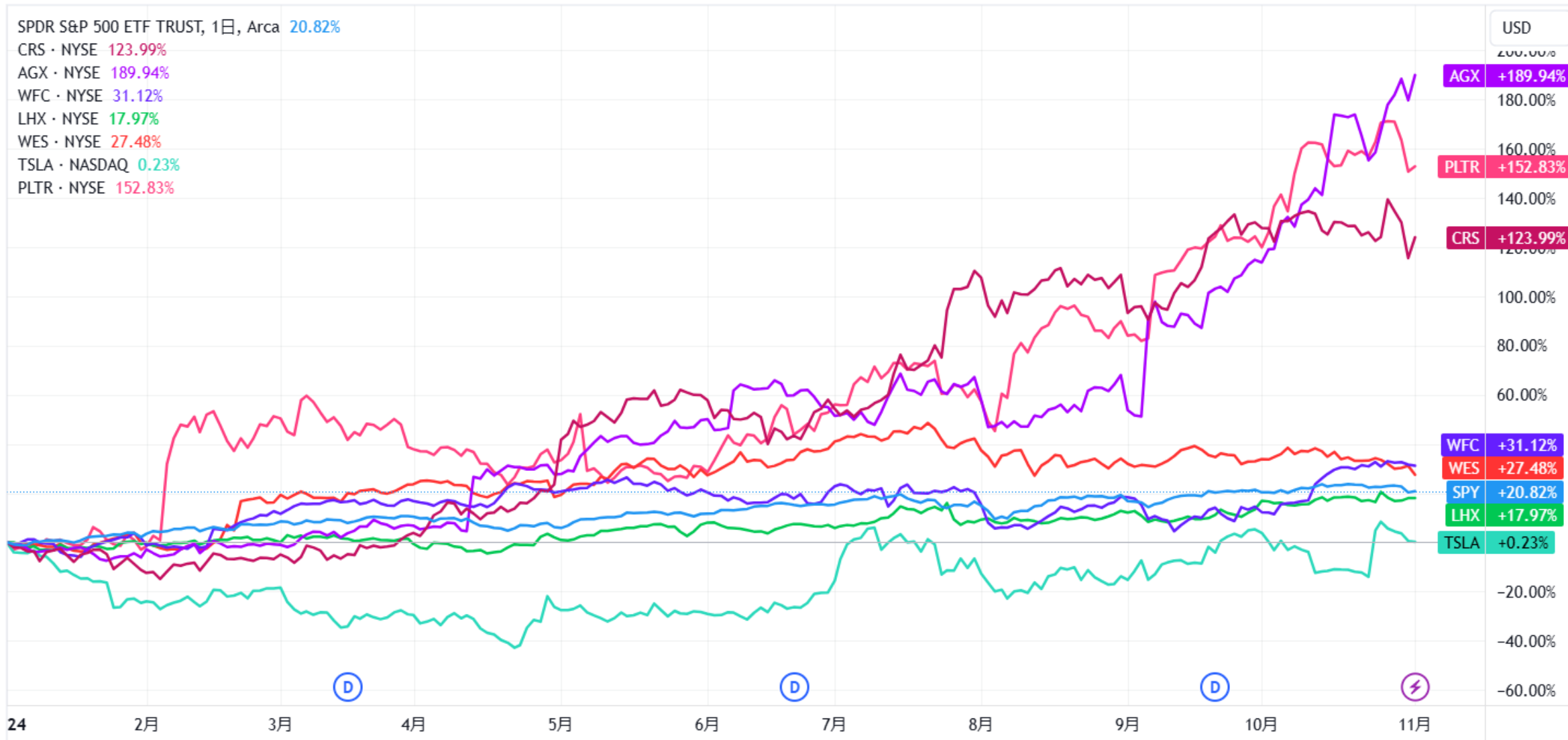
項目	セクター	個別銘柄	ETF
経済・政策	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅建設関係 ・一部製造業（特に中西部） ・金融セクター 	<ul style="list-style-type: none"> ・ CRS ・ AGX ・ WFC 	<ul style="list-style-type: none"> ・ XHB ・ XME ・ PAVE(グローバルXETFだが楽天証券にはなし)
外交政策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防衛&宇宙 	<ul style="list-style-type: none"> ・ LHX 	<ul style="list-style-type: none"> ・ SHLD
通商	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一部素材セクター 		
エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 天然ガス 	<ul style="list-style-type: none"> ・ WES 	<ul style="list-style-type: none"> ・ MLPA
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・ TSLA（トランプを熱烈支持） ・ 仮想通貨関係（トランプ運営会社あり） ・ PLTR（国防関係） 	

米国大統領選挙状況-トランプセクター

ティッカー	企業名	年初来	配当	FWD PER	PEG	企業概要
CRS	CARPENTER TECHNOLOGY	124%	0.50%	23	1.19	米国、欧州、アジア太平洋、メキシコ、カナダ、および国際的な特殊金属の製造、加工、販売に従事
AGX	ARGAN INC	184%	1.10%	32.06	n/a	発電市場にエンジニアリング、調達、建設、試運転、メンテナンス、プロジェクト開発、技術コンサルティングサービスを提供
WFC	WELLS FARGO	31%	2.50%	12.3	1.71	米国内外で多角的なバンキング、投資、住宅ローン、消費者金融および商業金融商品・サービスを提供
LHX	L3HARRIS TECHNOLOGIE	18%	1.90%	18.9	4.65	世界中の政府および民間顧客にミッションクリティカルなソリューションを提供
WES	WESTERN MIDSTREAM	27.50%	9.50%	9	0.73	天然ガスの収集、圧縮、処理、加工、輸送、コンデンセート、天然ガス液 (NGLs)、原油の収集、安定化、輸送、随伴水の収集、廃棄を行っている
TSLA	TESLA	0.20%	0%	100.9	15.5	電気自動車、エネルギー生成・貯蔵システムの設計、開発、製造、リース、販売を米国、中国、および海外で行っている
PLTR	PALANTIR TECHNOLOGIE	153%	0%	118	4.28	米国、英国、および国際的なテロ対策調査および作戦を支援する情報コミュニティ向けのソフトウェアプラットフォームを構築、展開

米国大統領選挙状況-トランプセクター

momiage0088 が TradingView.com で 11月 04, 2024 01:20 UTC-6 に公開



米国大統領選挙状況-ハリスセクター

項目	ハリス
経済・政策	<ul style="list-style-type: none"> ・インフレ対策に焦点 ・中間層向け政策 ・法人税引き上げ ・住宅購入支援（現金支給&新築物件建設）
外交政策	<ul style="list-style-type: none"> ・バイデン大統領の方針継続 ・中国には競争で勝つ イスラエル支持も人道重視
通商	<ul style="list-style-type: none"> ・中国製鉄鋼&アルミニウム輸入制限措置 ・中国EV関税引上げ、関連リチウム電池&半導体関税引上げ ・中国向け半導体輸出規制強化 ・TPPは復帰せず
エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンエネルギー促進は継続 ・LNG（液化天然ガス）の新たな輸出手続き一時凍結は継続
その他	

ハリスの特徴

- ・米国中間層以上に注力
- ・住宅支援
- ・シリコンバレーテックなど、テック援助強め
- ・環境政策は継続・クリエネ
- ・中国には厳しく（民主の方が中国への圧力強い）
- ・移民受け入れ
- ・天然ガス規制は継続
- ・半導体への抑制強め

米国大統領選挙状況-ハリスセクター

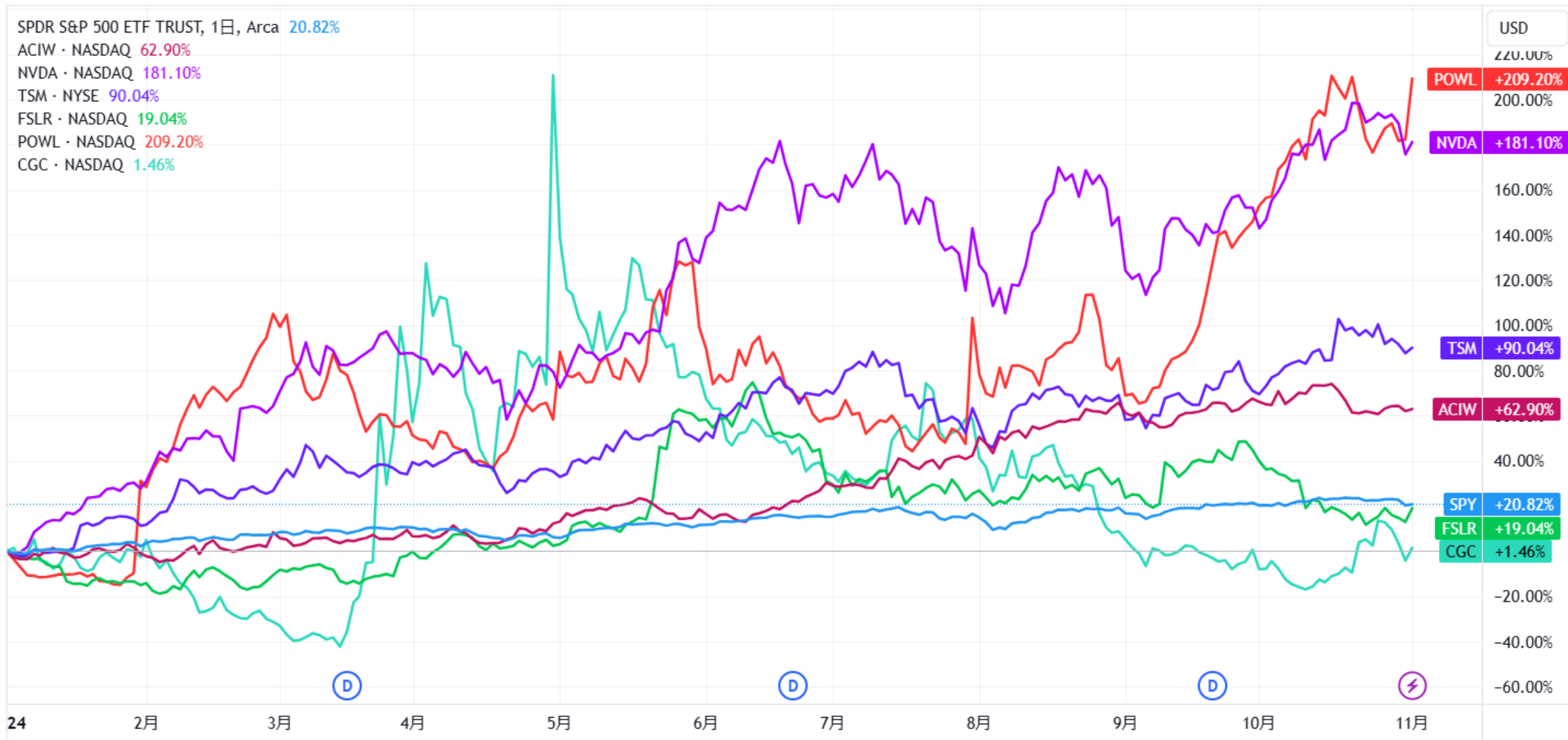
項目	セクター	個別銘柄	ETF
経済・政策	・シリコンバレー テック	・ACIW (ACI Worldwid, Inc.)	・QQQ ・XHB
外交政策			
通商	・半導体	・NVDA ・TSM	・SMH
エネルギー	・クリーンエネルギー	・FSLR (ファーストソーラー) ・POWL (パウエルインダストリーズ)	・QCLN
その他	・CANNABIS	・CGC	

米国大統領選挙状況-ハリスセクター

ティッカー	企業名	年初来	配当	FWD PER	PEG	企業概要
ACIW	ACI WORLDWIDE	63%	0.50%	32	n/a	米国内外でデジタル決済を促進するためのさまざまなソフトウェア製品やソリューションの開発、販売、導入、サポートを行っている
NVDA	NVIDIA CORP	181%	0.03%	47.4	1.1	米国、台湾、中国、香港、および国際的に、グラフィックス、コンピュータ、およびネットワークのソリューションを提供
TSM	TAIWAN SEMICONDUCTOR	90%	1.20%	30.5	n/a	台湾、中国、欧州、中東、アフリカ、日本、米国、および国際的に集積回路やその他の半導体デバイスの製造、パッケージング、テスト、販売を行っている
FSLR	FIRST SOLAR INC	19%	0.00%	15.4	0.36	米国、フランス、日本、チリをはじめ世界各国で太陽光発電（PV）太陽エネルギー・ソリューションを提供
POWL	POWELL INDS	209%	0.38%	23.1	n/a	カスタム設計の機器やシステムの設計、開発、製造、販売、サービスを行っている（主に電力制御関係）
CGC	CANOPY GROWTH CORP	1.50%	n/a	n/a	n/a	米国、カナダ、ドイツ、および国際的なレクリエーションおよび医療目的の大麻およびヘンプベースの製品の生産、流通、販売に従事

米国大統領選挙状況-ハリスセクター

momiage0088 が TradingView.com で 11月 04, 2024 01:18 UTC-6 に公開

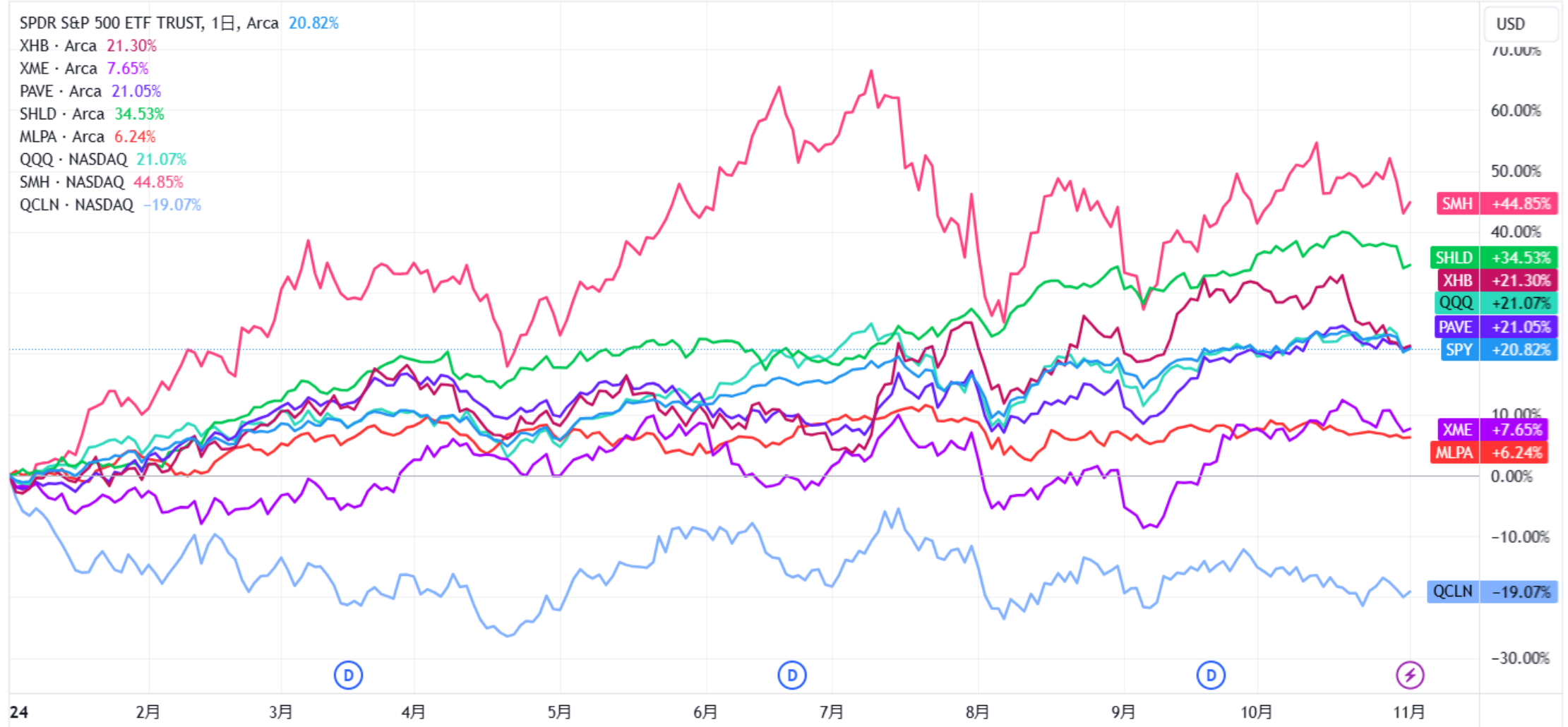


米国大統領選挙状況-ETF

ティッカー	ETF名	トランプ	ハリス	Remark
XHB	S&P HOMEBUILDERS ETF	○	○	直近建設関係は先行き不安で調整中
XME	S&P METALS & MINING ETF	○	×	インフレ圧力入ると弱い
PAVE	GLOBAL X US INFRA DVLPMNT ETF	○	△	インフラは有望だがセクター選定必用
SHLD	GLOBAL X DEFENSE TECH ETF	○	△	国防関係は地味に上昇。ETFの方が優位
MLPA	GLOBAL X MLP ETF	○	×	天然ガスはトランプだけ
QQQ	INVSC QQQ TRUST SRS 1 ETF	△	○	M7優位は変わらず
SMH	VANECK SEMICONDUCTOR ETF	○	○	中途半端な銘柄よりETFの方が優位
QCLN	FIRST TST NASDAQ CLEAN ED ID ETF	×	○	トランプなら絶対にダメ

米国大統領選挙状況-ETF

momiage0088 が TradingView.com で 11月 04, 2024 01:33 UTC-6 に公開



米国大統領選挙状況-トレンド

AIは次のステップの電力供給関係が注目されている。
VST・SMR・OKLO

momiage0088 が TradingView.com で 11月 03, 2024 22:46 UTC-6 に公開



TradingView

年初来
S&P500+20.82%

- ①VST (Vistra) +213.92%
- ②SMR (NuScale Power) +505.41%
- ③OKLO (Oklo) +104.43%

→VST以外はまだ売り上げ実績がほぼない為先行投資。SMRは小型モジュール炉 (SMR) 特化企業。

銘柄選び方サマリー

1. 難しいならSP500一択（VOOやSPYなど）
2. リスクの取り方を考える（家庭・環境に応じて）
3. 焦らない（マイペースが大切・新NISA）
4. 株式はリスク資産（生活防衛資金は残して）

今後-ドルインデックス

大統領選挙が誰であれドル高継続の可能性が高い
トランプは米国第一主義な為、内向きな米国になり更に米国一強に

momiage0088 が TradingView.com で 11月 02, 2024 21:12 UTC-5 に公開

米ドルインデックス, 1週, TVC 104.317 0.000 (0.00%)

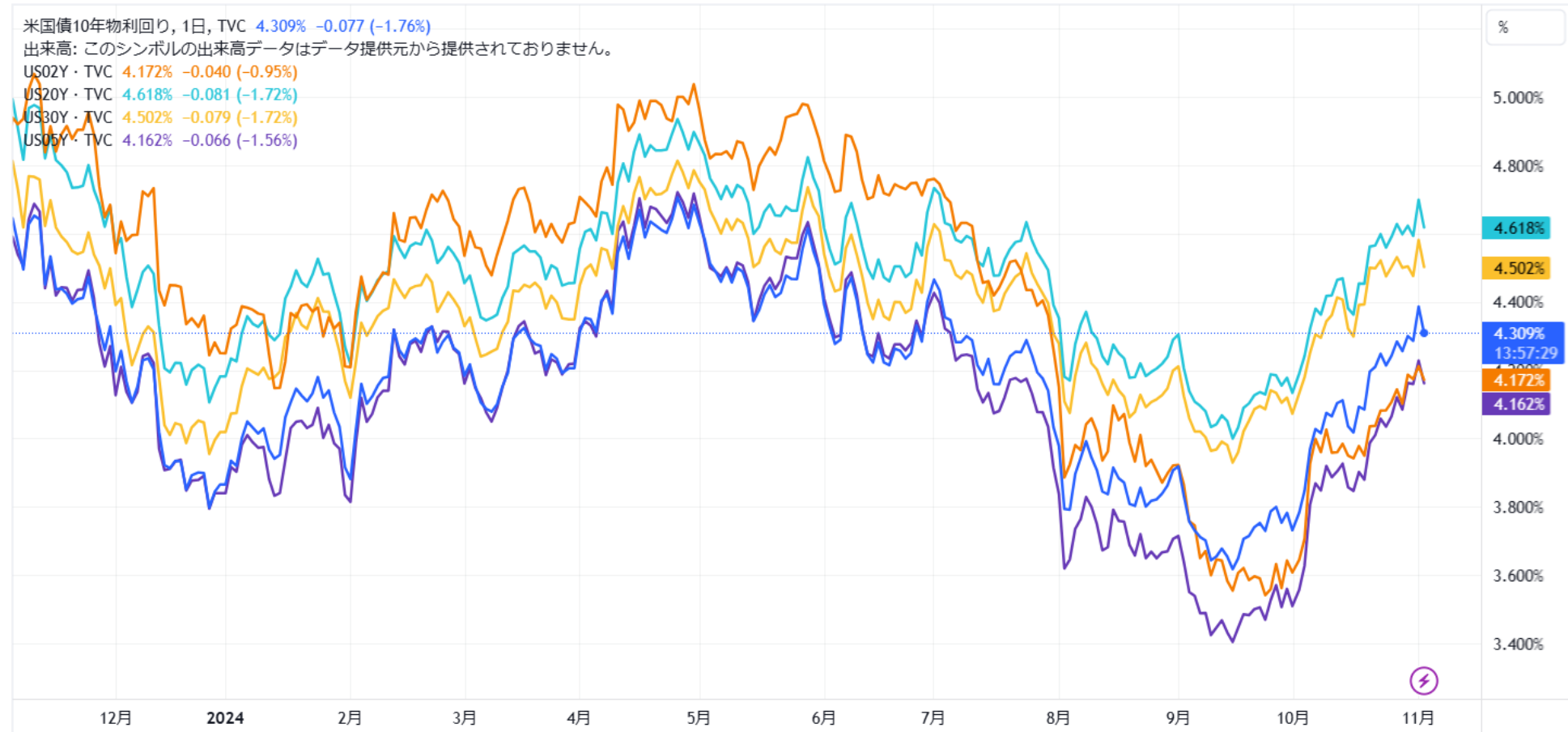
出来高: このシンボルの出来高データはデータ提供元から提供されていません。



今後-金利

金利は順イールドに、景気後退が見込まれないと金利は下がりずらい
ある程度高い水準の金利状況でも勝てる銘柄の選定が必要

momiage0088 が TradingView.com で 11月 04, 2024 02:02 UTC-6 に公開



今後-サマリー

- ・ドル高 & 金利高が継続することが見込まれる
- ・大統領選挙の結果が長引く場合は既存のポジションをある程度利確してリバランスが進む可能性も考慮（調整に近い）
→12月17日選挙人後投票集計結果の12月25日までかかる可能性
- ・バリュエーションを冷静に判断するのが重要に（現在のマーケットがバリュエーション次第になってきつつある）
- ・どちらの大統領になってもオールレッドじゃない限りは捻じれる可能性が高く、政策が上手くいかない可能性も考慮する。

終わりに

- ・ 個人投資家はマイペースに
- ・ 誰も未来は予想はできない。予想が外れたらアジャストする柔軟さは大切
- ・ チャンスを逃さない準備も同時に
- ・ 周りに影響されずコツコツと

マーケットが悪化してから慌てずに、常に守りも意識して投資を継続しよう！